



清水遺跡西部水田域（南上方向から）



清水遺跡西部水田域（西方向から）

清水遺跡東部水田跡
第2トレンチ土層断面(南側)
(東方向から)



東部水田跡全景
疑似畦畔検出状況



東部水田跡第2トレンチ(北側)
(東方向から)

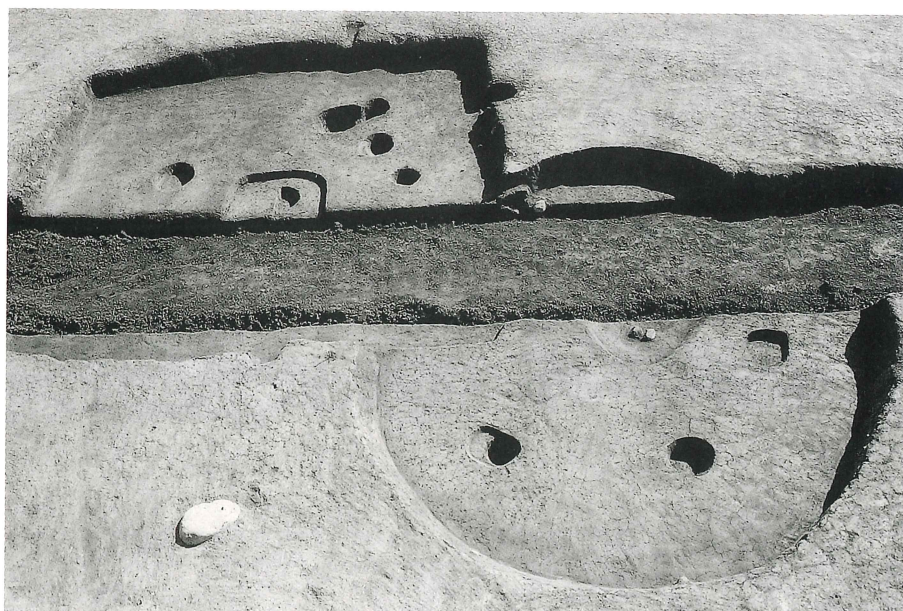




豎穴1 遺物出土状態
(南方向から)



豎穴2 遺物出土状態
(南方向から)



豎穴1・2 完掘状態
(南方向から)



竪穴3 遺物出土状態
(北東方向から)



竪穴3 カマド完掘状態
(北東方向から)



竪穴4 遺物出土状態
(北西方向から)



竪穴4完掘状態
(南東方向から)



竪穴5
(西方向から)



竪穴7・建物2
(東方向から)



建物1
(南方向から)



小児カメ棺、焼土範囲
(北方向から)



小児カメ棺



1-1



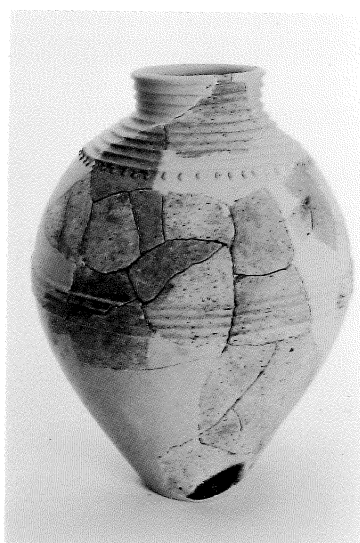
1-2



1-3



1-4



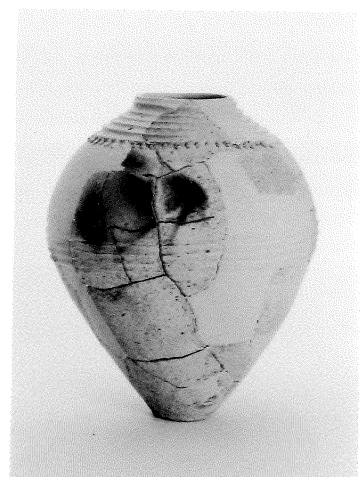
1-7



2-2



2-4



2-1



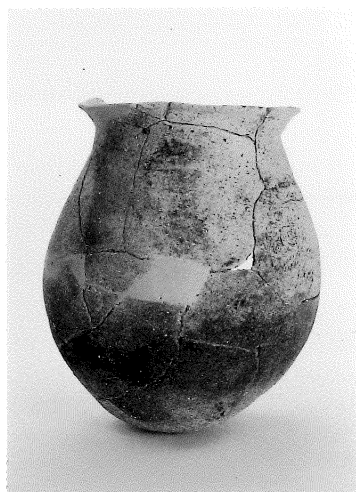
2-5



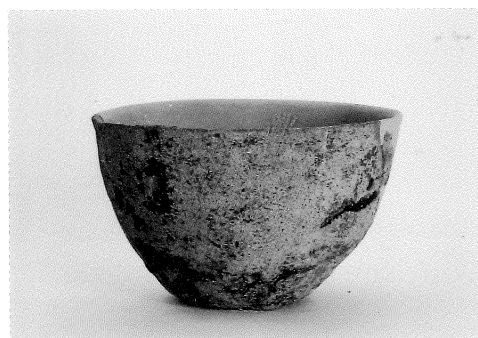
3-1



3-2



3-5



3-6



4-5



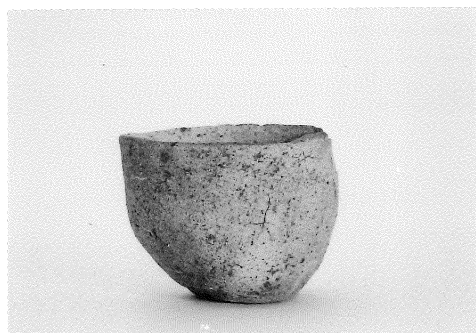
4-8



4-6



4-9



4-7



4-12



4-13



4-14



4-17



5-1



5-3



5-4



5-5



5-7



5-8



6-2



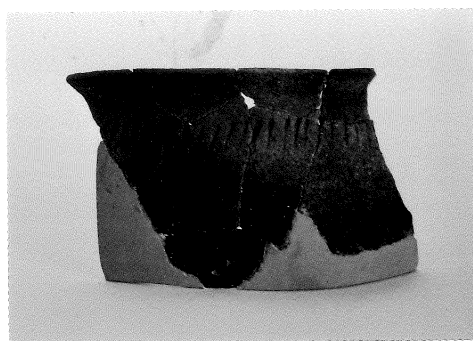
6-4



6-6



7-1



7-2



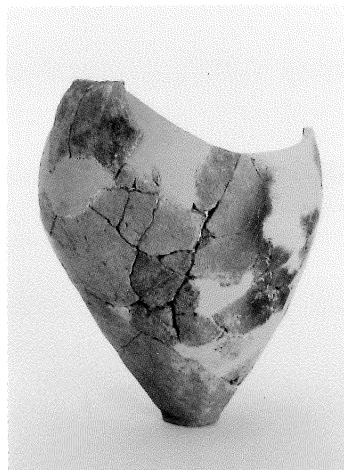
7-3



7-7



8-1



8-2



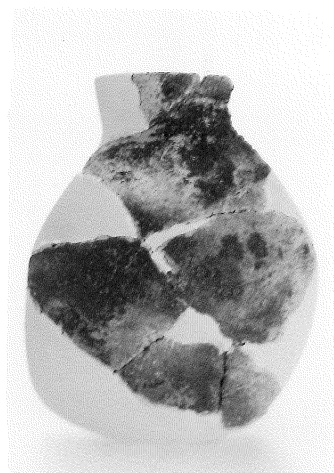
10-3



10-4



10-7



10-11



10-12



11-1



11-3



12-4



12-5



12-9



12-10



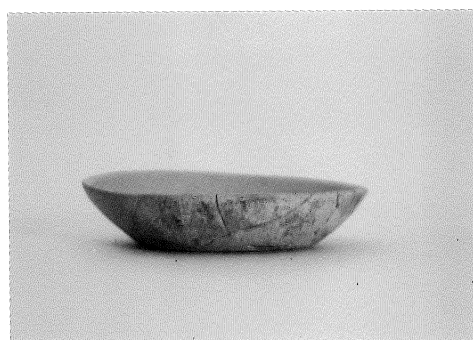
12-13



13-2



12-14



13-3



12-16
18
15
17
(左から)



13-4



13-1



13-5



13-6



13-7



13-8



13-11



13-12



13-13



13-14



14-2



14-3



14-4



14-5

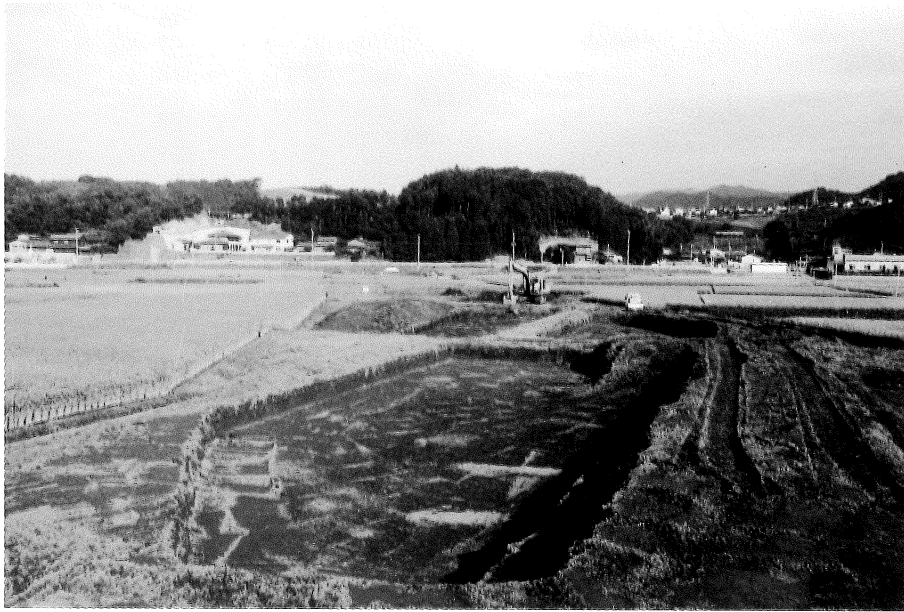


14-8

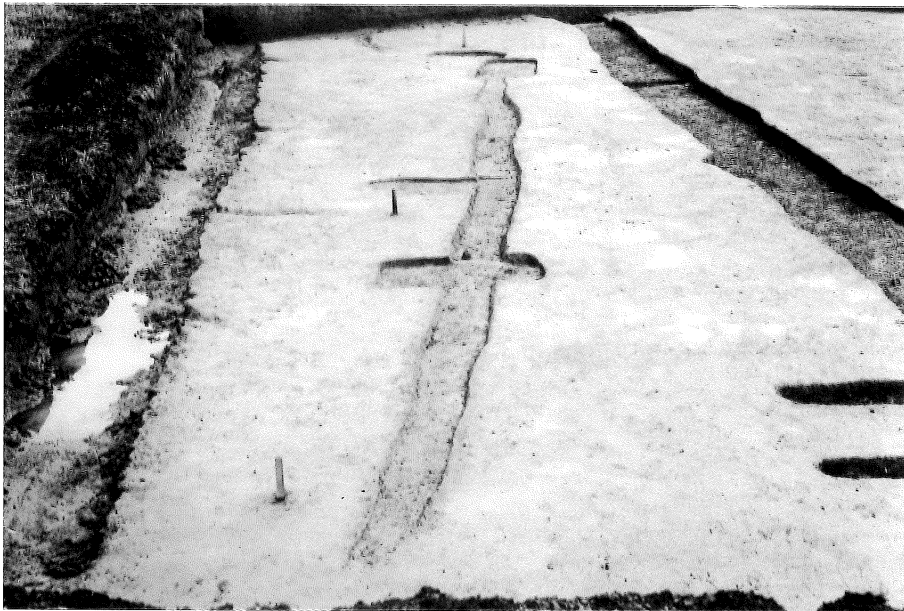


14-10

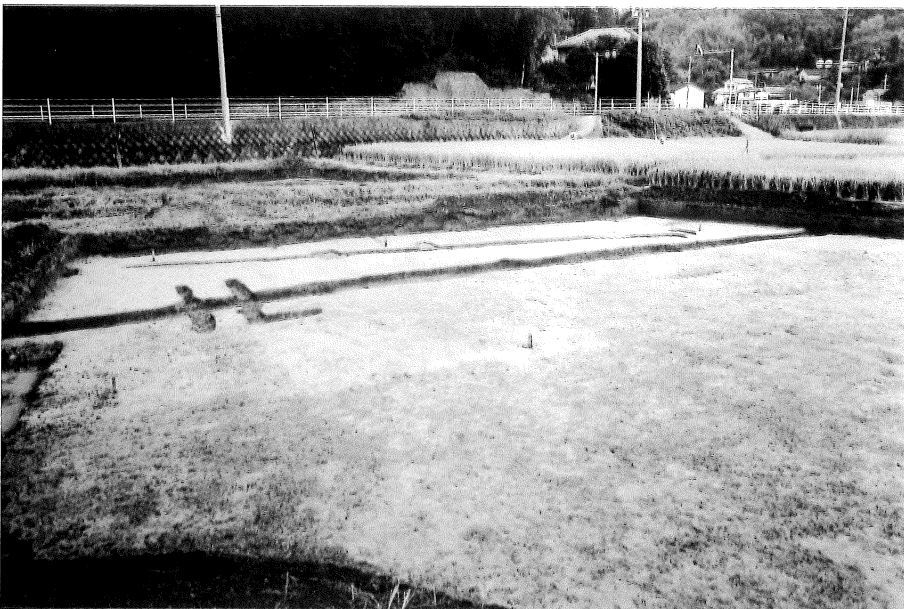
清水遺跡出土遺物（8）



新田遺跡全景
(西方向から)



溝1
(北方向から)



溝2
(西方向から)



川野遺跡全景（北方向から）



墓地全景（西方向から）



墓地北半部の墓標（南西方向から）



墓地南半部の墓標（北西方向から）



川野遺跡墓標 (1)



川野遺跡墓標 (2)



久木小野遺跡全景



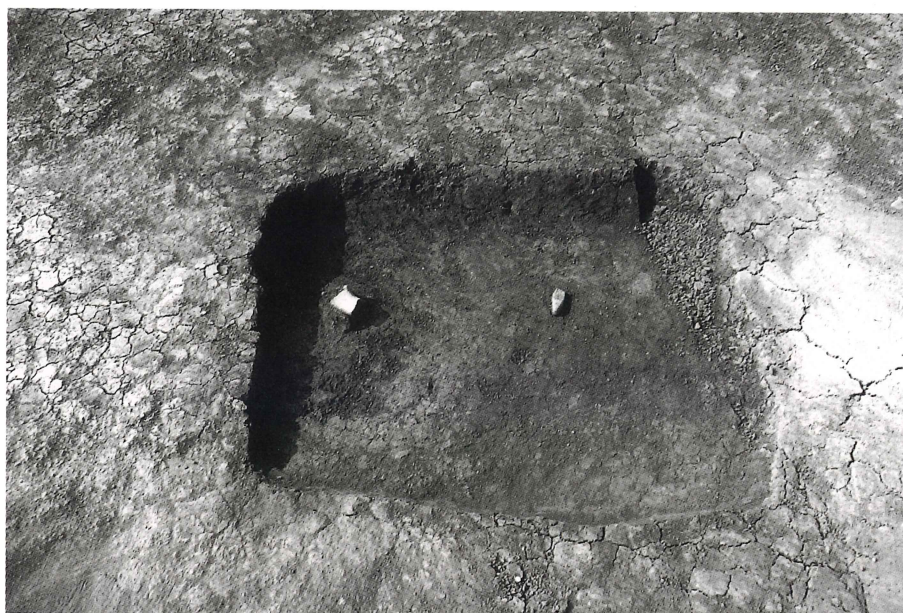
久木小野遺跡全景



久木小野遺跡作業風景



平岩遺跡全景



土坑1（南方向から）



土坑2（南方向から）

第10章

まとめ

大分県教育委員会は、平成7～10年度に東九州自動車道建設に伴い、大分市、臼杵市、津久市において6か所の発掘調査を実施した。

以下、その成果を中心に概述してまとめとしたい。

大分市地域では、近年大野川下流域の両岸台地における遺跡の発掘調査の目ざましい成果がある。その一つ大分県スポーツ公園建設に伴って平成8、9年度に行われた大分市松岡の一方平遺跡群の発掘調査では、これまでにない知見が得られた。とくに一方平Ⅰ遺跡は後期旧石器時代の遺跡としては県下最大規模とみられるものであった。また、一方平Ⅳ遺跡では、この地域では数少ない縄文晩期～弥生前期の初期水田農耕にかかる遺跡と考えられるものであった。さらに、平安時代の上牧ノ内Ⅰ遺跡では膨大な量の土師器による祭祀遺構が発見された。その後近くの丘陵で調査された松岡古窯跡群と合わせて、この地域の古代における評価と位置づけに興味をもたれるものがある。

こうした中で、一方平遺跡群の南東の段丘土に立地する尾崎遺跡では、弥生中期の円形竪穴住居跡と貯蔵穴、古代の土師器焼成塚が確認されている。清水遺跡は、尾崎遺跡の東、大野川の分流乙津川に近い沖積地に位置している。ここでは、東側の自然堤防とみられる微高地上に弥生中・後期の円形竪穴住居と小児甕棺墓が各1基、古墳時代後期の方形竪穴住居跡6軒、さらに奈良時代掘立建物2棟が検出された。ここでは特に注目されるのは、この住居跡の微高地と台地部との間の低地において古代～近世の水田跡が明瞭に確認されたことである。(その詳細については、先述の田崎博之氏の考察に尽くされている)。ここでは、東西に緩く曲がる埋設した水路と接するように二つの水田域が見つかった。台地寄りの西部水田域の下層の水田Ⅱは、8世紀に営まれたと考えられる水路、畦畔、水田面をもつ小区画水田である。水田の1区画の規模は、幅0.6～1.5 m、長さ1.2～5 mの小規模のものである。微高地に近い東部水田地域でも3期にわたる小区画水田が検出されている。最古期段階のⅠ期は幅0.5～1.1 m、長さ1～3.5 mの長方形もしくは台形のもの。2期は区画の単位は不明であるが、3期では1 m×2.5 m程度の方形区画が想定されている。これらの時期は出土遺物によって近世、18世紀代とされている。

この清水遺跡の南約1 kmの微高地上の毛井遺跡では、平成11、12年度の調査によって古墳時代後期(6世紀中～後葉主体)の方形竪穴住居跡群約60軒が検出された。この住居跡群はさらに南北に広がるものと推定され、この期のものとしては地域最大の集落跡とみられる。その集落の存続期間は、伴出須恵器からみて6世紀初頭から6世紀末に及ぶもので、もちろんその生産基盤は、周辺一帯の肥沃な沖積地を対象とした水田農耕以外に考えられない。大野川下流域といえ、100年の間には何回かの大水害が襲ったのであろうことは想像に難くない。そうした危険を予測しての集落の形成であったのであろうか。清水遺跡における同期の住居群の形成もそうした状況であったことをうかがわせるものである。

清水遺跡の東部、大野川右岸の微高地上に立地する新田遺跡は、近世遺構の水田と水路を確認している。

臼杵地域では、川野遺跡で近世墓地群全域の調査を行った。墓地の形成期間は、銘によれば1703～1898年の約200年に及ぶもので、紀年銘による墓地形成の推移を辿ることができた。墓標の形態の変遷をはじめ、家族墓形成の過程を考える上で貴重な資料を得た。また、久木小野遺跡では、縄文前期、後期の遺物、中世の遺物(土師器等)が出土した。

津久市平岩遺跡では14、15世紀代の備前焼壺を伴う土塚を調査している。

報 告 書 抄 録

| | |
|--------|--|
| フリガナ | オサキイセキ ソウズイセキ シンデンイセキ カワノイセキ クギオノイセキ ヒライワイセキ |
| 書名 | 尾崎遺跡 清水遺跡 新田遺跡 川野遺跡 久木小野遺跡 平岩遺跡 |
| 副書名 | 東九州自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(3) |
| 巻次 | 大分県文化財調査報告書 第137輯 |
| シリーズ名 | —— |
| シリーズ番号 | —— |
| 編著者 | 清水宗昭、栗田勝弘、小林昭彦、小柳和宏、永井 実 |
| 所在地 | 〒870-0021 大分県大分市府内町3-10-1 |
| 発行年月日 | 2002年3月29日 |

| フリガナ 所収遺跡名 | フリガナ 所在地 | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|-------------------|--|-----|------|-----------|------------|-------------------|---------|---------------|
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| オサキイセキ 尾崎遺跡 | オオイトケンオオイトシオ 大分県大分市大 アザヨコオアザオサキ 字横尾字尾崎 | 201 | 165 | 33°11'55" | 131°40'20" | 950601～ 960325 | 28,600㎡ | 東九州自動 車道建設 |
| ソウズイセキ 清水遺跡 | オオイトケンオオイトシオ 大分県大分市大 アザヨコオアザソウス 字横尾字清水 | 201 | 166 | 33°11'45" | 131°40'36" | 950601～ 960325 | 20,800㎡ | 東九州自動 車道建設 |
| シンデンイセキ 新田遺跡 | オオイトケンオオイトシオ 大分県大分市大 アザカワチアザシンデン 字川内字新田 | 201 | 203 | 33°11'20" | 131°41'40" | 950826～ 961022 | 50,600㎡ | 東九州自動 車道建設 |
| カワノイセキ 川野遺跡 | オオイトケンウスキシオ 大分県白杵市大 アザヨシオノアザカワノ 字吉小野字川野 | 206 | 005 | 33° 7'20" | 131°44'05" | 971210～ 980327 | 750㎡ | 東九州自動 車道建設 |
| クギオノイセキ 久木小野遺跡 | オオイトケンウスキシオ 大分県白杵市大 アザクギオノ 字久木小野 | 206 | 004 | 33° 7'40" | 131°43'55" | 980621～ 980826 | 1,000㎡ | 東九州自動 車道建設 |
| ヒライワイセキ 平岩遺跡 | オオイトケンツクミシ 大分県津久見市 オアザクギオノ 大字久木小野 | 207 | 003 | 33° 5' | 131°50'37" | 960722～ 960731 | 15,000㎡ | 東九州自動 車道建設 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|--------|-----|---------------------|------------------------|---------|----------------|
| 尾崎遺跡 | 集落 | 弥生、古 代、近世 ～近代 | 竪穴、土師器焼成坑、溝、 一字一石経塚 | 土器、石器ほか | |
| 清水遺跡 | 集落 | 弥生～ 中・近世 | 甕棺、竪穴 水田 | 土器、石器ほか | 奈良時代の小 区画水田 |
| 新田遺跡 | 水田 | 近世～現 代 | 水田、溝 | | |
| 川野遺跡 | 墓地 | 近世・近 代 | 墓標 | | |
| 久木小野遺跡 | 包蔵地 | 縄文、中 世 | 包含層 | 土器、石器ほか | |
| 平岩遺跡 | | 中世 | 土坑 | 陶器 | |

尾崎遺跡
清水遺跡
新田遺跡
川野遺跡
久木小野遺跡
平岩遺跡

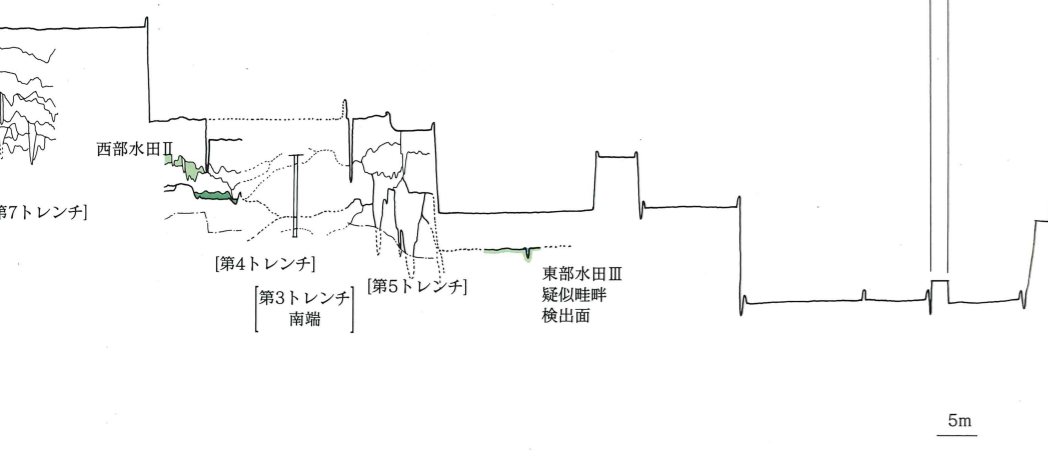
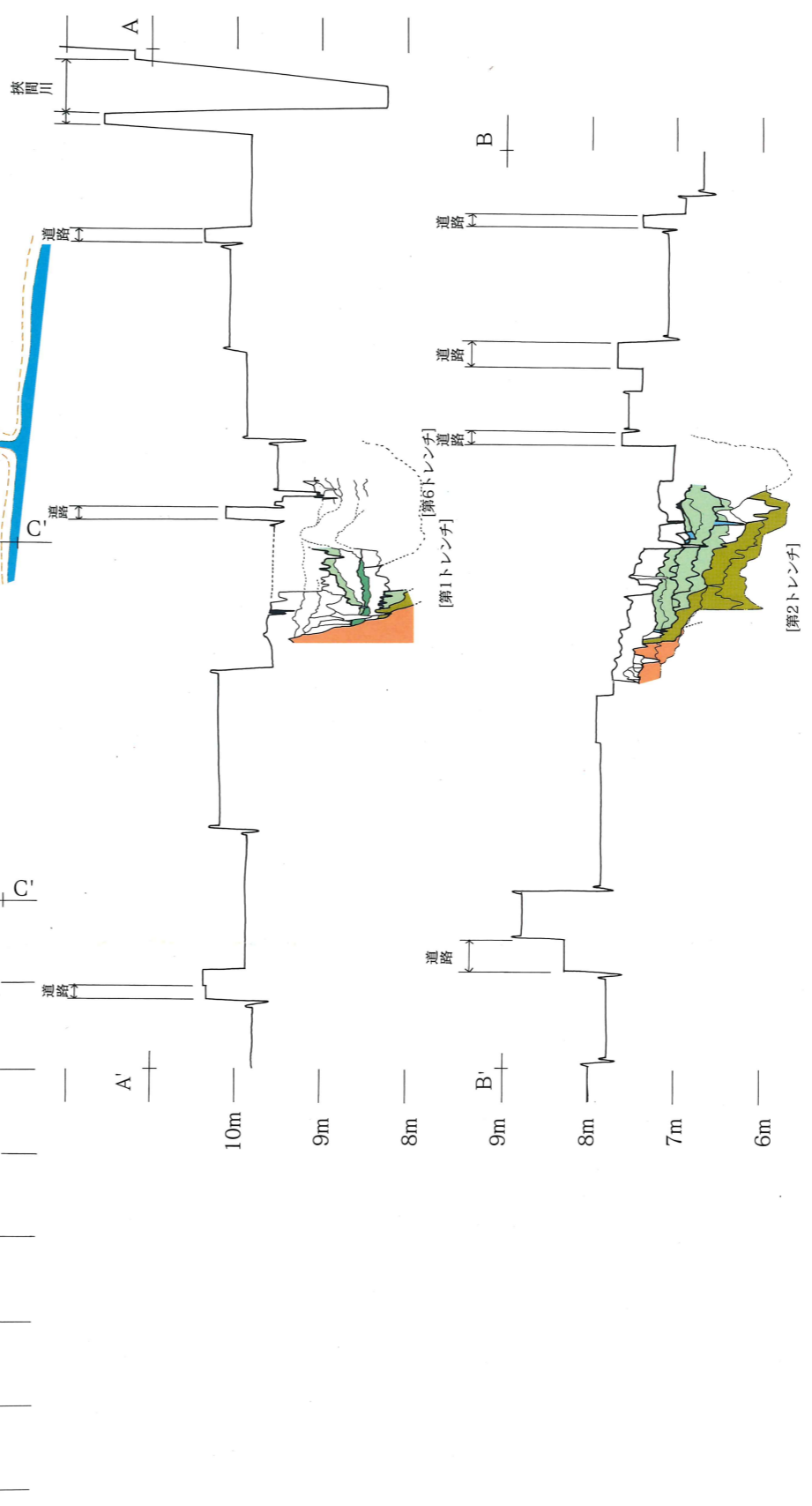
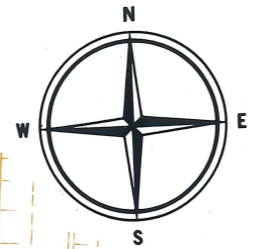
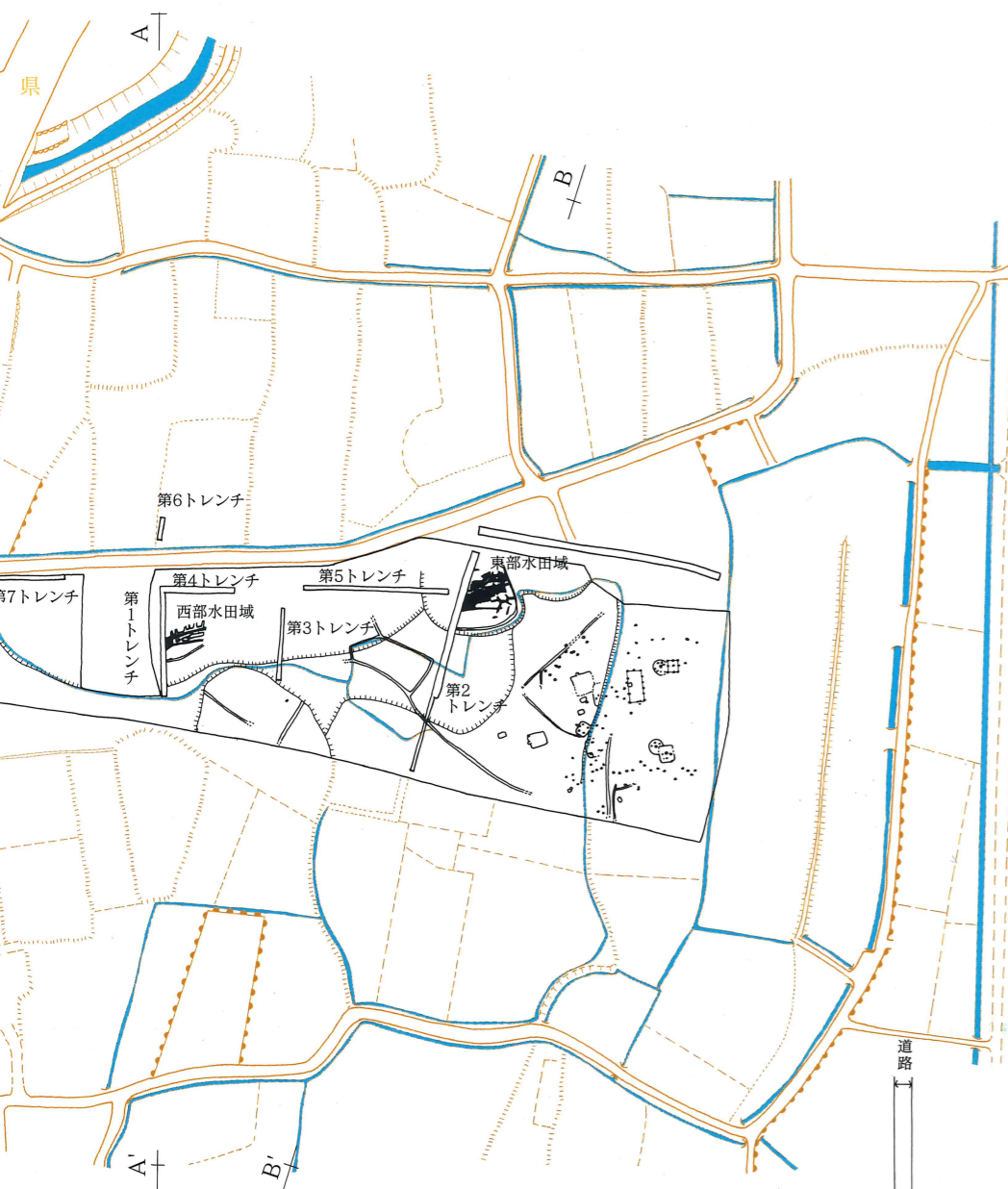
東九州自動車道関係埋蔵
文化財発掘調査報告書(3)

平成14年3月29日

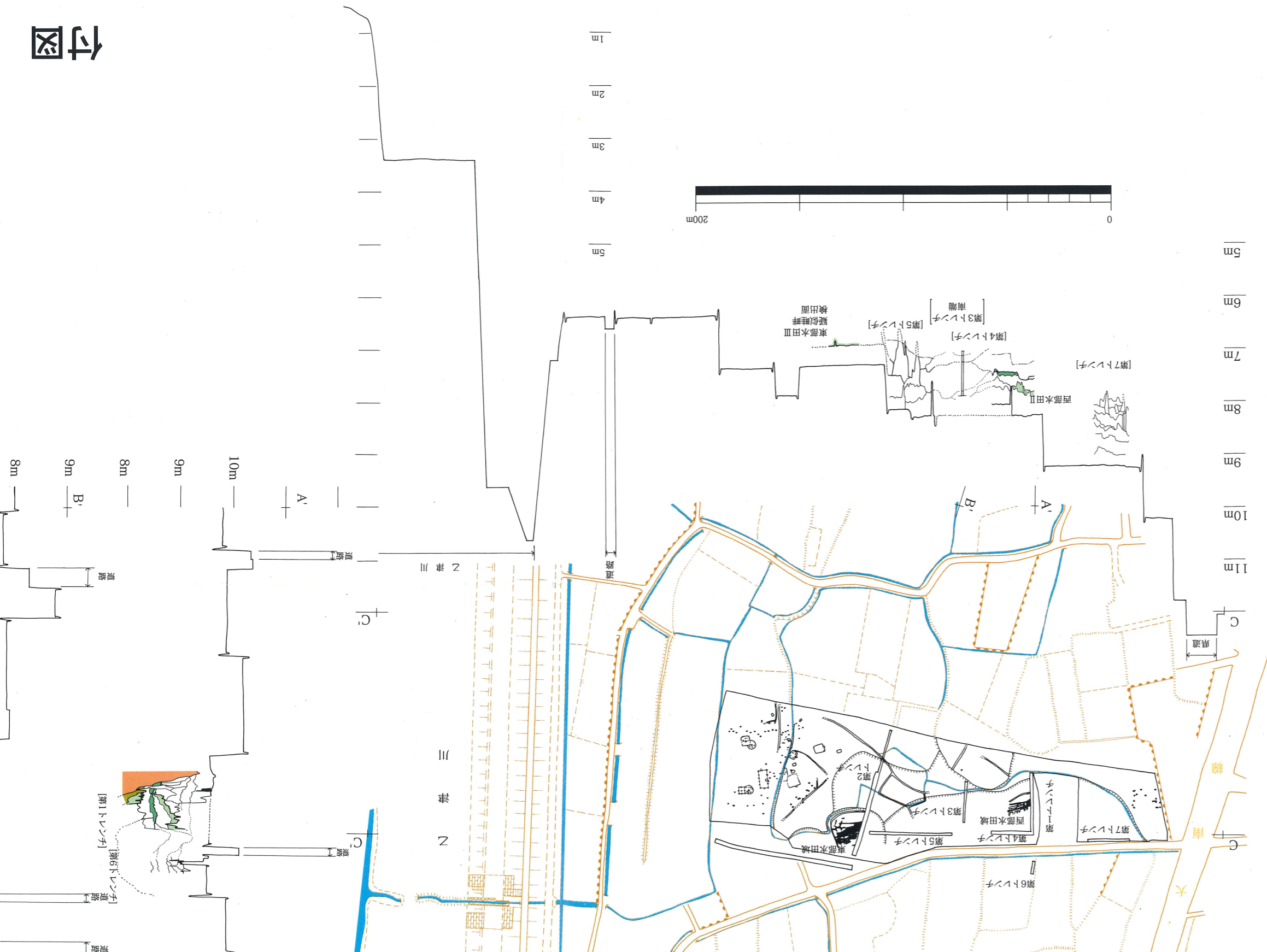
編集 大分県教育庁文化課（文化財資料室）
〒870-1113
大分市中判田1977-1
TEL 097 (597) 5675

発行 大分県教育委員会
〒870-1113
大分市府内町3丁目10番1号
TEL 097 (536) 1111

印刷 株式会社 エポックアート



付図



5m
6m
7m
8m
9m
10m
11m

10m
9m
8m
8m
8m

A'

B'

C

C

C

津川

津川

[第7トツチ]
西部水田II
[第4トツチ]
[第3トツチ] 南廂
[第5トツチ]
東部水田III
疑似畦畔
検出面

第7トツチ
西部水田
第4トツチ
西部水田城
第3トツチ
第5トツチ
東部水田城
第6トツチ
第1トツチ
第8トツチ

泉道

道路

1m
2m
3m
4m
5m

0
200m

付図 清水遺跡地形断面図

